

## アミメキリンの「リボン」が死亡しました



12月25日深夜に当園において飼育展示しておりましたアミメキリンのリボン（メス）が死亡しましたので、お知らせします。リボンは、いつもどおりに元気に生活しておりましたので突然の出来事に大変驚いています。11月25日のムサシ（オス）に続き、相次ぐアミメキリンの死亡に職員一同、大変残念な思いと深く悲しい気持ちです。これまで可愛がっていただいた皆様に感謝を申し上げます。

### リボンについて

- 年齢：8歳（平成19年5月27日盛岡市動物公園生まれ）
- 来園日：平成22年10月21日
- 死亡日及び経過：平成27年12月24日21時20分頃、宿直員が動物舎を巡回中に座り込んでいるリボンを発見。異常を感じた宿直員が飼育員と獣医師に連絡し、駆けつけた飼育員らが起立を促すが起立不能の状態でした。鎮痛剤の投与などの処置を行いました但し徐々に体力が低下し、12月25日深夜1時40分に死亡を確認しました。
- 死因：帯広畜産大学の協力を得て、病理解剖を行い死因の特定を行います。
- アミメキリンの飼育状況：リボンの死亡により、メープル（オス1歳）のみになりました。
- 献花台について：こどもかいかんに献花台を設置します。（12月26日、27日）

[キリンの死亡原因について（平成28年1月16日）](#)

## キリンの死亡原因について

昨年の11月25日と12月25日に死亡したキリンの死亡原因について帯広畜産大学から病理解剖・病理組織診断報告書が提出されましたので、お知らせします。

【個体情報】愛称：ムサシ 性別：オス

出生年月日：1996年7月12日（19才）千葉市動物公園生まれ

来園年月日：1999年11月27日 東北サファリパークより

死亡年月日：2015年11月25日

死亡時の状況

11月25日

21：00 宿直員による巡回で倒れているムサシを確認

21：30 飼育員、獣医師の到着時には、すでに死亡

【個体情報】愛称：リボン 性別：メス

出生年月日：2007年5月27日（8才）盛岡市動物公園生まれ

来園年月日：2010年10月21日 盛岡市動物公園より

死亡年月日：2015年12月25日

繁殖経歴：2012年5月26日（オス）・2014年9月21日（オス）

死亡時の状況

12月24日

21：00 宿直員による巡回時に座り込んでいるリボンを確認

21：30 飼育員、獣医師が起立を促すが起立不能

12月25日

1：40 死亡確認

【病理解剖学的および病理組織学的所見】

ムサシとリボンともに病理解剖学的ならびに病理組織学的ともに死因と結びつく所見は認められませんでした。

キリンでは生前健康状態に異常が観察されていないにもかかわらず突然死を来す、「キリンの突然死症候群」と呼ばれる疾患群が報告されています。本症例についても検査範囲では同症候群矛盾しない結果が得られていますが、確定的な証拠は得られていません。

以上が帯広畜産大学の報告になります。

【備考】メスのリボンは帯広畜産大学における病理解剖時に妊娠後期であったことを確認しています。

